

## Lifestyle

バトルクリークは、歴史的地区の住宅地から湖に面した家やコテージ、高級分譲地の比較的新しい大きい住宅に至るまで、広範囲に亙る住宅オプションを揃えて、くつろいだライフスタイルを提供しています。地域の不動産価格は米国内の他の都市と比較するとかなりの価値を提供し、居住者には例外的な住宅の選択が与えられています。

強固で伝統的な労働観を携え、この家族を基盤とした地域社会ではミシガン州独特の季節の美しさを織り交ぜたライフスタイルを提供しています。五大湖やミシガン州の原生のままの自然の観光名所に密接しており、レクリエーションの機会は豊富です。この国際的にも知られた文化的な場所は、デトロイトとシカゴから車でほんのわずかな距離です。

バトルクリーク・アートセンター (*Battle Creek Art Center*)、*W・K・ケロッグ・オーディトリウム (W K Kellogg Auditorium)*、およびバインダーパーク動物園 (*Binder Park Zoo*) では、独自の文化的・教育的機会を住民全員に提供しています。この地域社会では毎年、「バトルクリーク熱気球選手権」、「世界最長のブレックファースト・テーブル (*World's Longest Breakfast Table*)」、「国際セレブレーション (*International Celebration*)」、および「バトルクリークの味覚 (*Taste of Battle Creek*)」などの祝賀行事を行っています。

## Business

バトルクリークは企業家精神の基盤の上で成長しました。20世紀初頭に、*W・K・ケロッグ (W K Kellogg)* と *C・W・ポスト (C W Post)* はここで世界的なシリアル産業の競争をしました。約100年後、彼らの会社は市の中心部に立地するケロッグ世界本社、研究・開発センター、および *W・K・ケロッグ財団* と共にバトルクリーク地域の主要な雇用者になっています。

バトルクリークは引き続き、国際的基盤のビジネスや産業の中心としての評価を築いています。この地域社会は、市の西側のフォートカスター・インダストリアルパークに入っているヨーロッパやアジアからの21企業および国内企業75社と共に、様々な種類の国際的・民族的文化を祝っています。シカゴとデトロイトの中間地点に位置するバトルクリークは、主要な鉄道輸送施設、地域の貨物・旅客用の空港、州間高速道路への身近なアクセス、米国税関、通関手続港 (*US Customs Port of Entry*) および外国貿易地域 (*Foreign-Trade Zone*)などを備えています。また、革新的なトレーニング、「免税ルネッサンス・ゾーン (*Tax-Free Renaissance Zone*)」、「バトルクリーク航

空およびe-Learning Smart Zone<sup>sm</sup> (Battle Creek Aviation and e-Learning Smart Zone<sup>sm</sup>)」および地域社会規模の光イーサネット ファイバーリングを使った高速インターネットへの直接アクセスなども提供しています。54,000 人をわずかに下回る人口の地域社会であるバトルクリークでは、通常は遥かに大きい首都圏地区で利用されるような輸送・通信の便宜と共に、連邦政府、州政府、および地元の政府の支援サービスも受けることができます。

## 教育

会社用地の選定を行う担当者は、最近では、コミュニティーが提供する他の環境や施設以上に、教育環境の質に関心を示しています。それには2つの単純な理由があります。1番目の理由は、教育の質が、利用できる予備労働力の質に大いに関係があるということです。2番目の理由は、子供たちが会社の所在するコミュニティーで教育を受けるからには、親である社員たちは見つけられる限り最高の学校を選びたいということ、担当者がよく理解しているからです。

バトルクリークには、公立の学区が2つあります。レイクビュー学区では、3千9百万ドルを投じて、創設とプランニングにあたり全国的な注目を集めた高校が完成しました。さらに、この学区は、ミシガン州南西地区において、学力では公立学区のトップ3の1つにランクインしています。

もう1つのバトルクリーク学区には、同区内の全施設の大改装に対して、6千9百万ドルの債券発行の許可が下りました。この学区の公立学校は、芸術アカデミーなどの革新的な教育プログラムで知られています。

ダウンタウンにあるセント・フィル・カトリック・スクールは小規模ながら、優れたシステムを誇り、卒業生を全米の名門大学や学究プログラムに送り出しています。バトルクリークの私立学校には、革新的なチャータースクール数校もあります。

バトルクリークの算数・科学センターは、同系の学校としてはミシガンでも一流校です。バトルクリークの商業地域は、カラマズーに比べて規模は小さくなりますが、バトルクリークの算数・科学センターは、入学者数およびスチューデント・イノベーションにおいては、カラマズーをしのいでいます。

バトルクリークの中心地から3時間以内の地域には、ミシガン州立大学、ミシガン大学、パデュー大学、ノートルダム大学、ノースウエスタン大学、アルピオン・カレッジ、カラマズー・カ

レッジなど、全米の一流大学があります。

州第4の規模を誇る研究大学、ウエスタン・ミシガン大学は、バトルクリーク中心部に地方キャンパスを、W・K・ケログ・エアポートに航空学部を擁しています。

ケログ・コミュニティー・カレッジは、コミュニティーの提携機関とともに、1986年にリージョナル・マニファクチュアリング・テクノロジー・センター（RMTC）を設立しています。RMTCでは、企業を抱えるコミュニティーに対して、必要なスキルセットを保持し、向上することができるようにカスタマイズされた高度なトレーニングを提供しています。専門職を対象にしたカリキュラムの多くは、ウェブベースの配信システムにて設定されており、それによって、子供を持つ人々、労働者、学生にとって、他の仕事や研究との時間のバランスをとりながら教育を受け続けることが可能になっています。

RMTCは、これまでに他州から少なくとも6人の知事による訪問を受けており、高等教育の実施において他のコミュニティー・カレッジや専門大学へのモデルとしての役割を果たしています。RMTCの成功には目覚ましいものがあり、ミシガン州の「M-Tecプログラム」も、この機関を技術革新の模範としています。同プログラムは、ミシガン州全体でコミュニティー・カレッジを擁する全地域が、高等教育実施のために同様の体制を構築できるように設計されています。

この種の成功は、2003年にバトルクリークに創立されたロバート・ミラー・カレッジというかたちで成就しました。ミラー・カレッジでは、教育と学習が区別されており、同校では学習の推進に力を入れています。

教育に対するバトルクリークのコミットメントは、「レガシー・スカラーズ・プログラム」によって支援されています。教育に対して助成金を交付する同プログラムでは、ケログ・コミュニティー・カレッジにおいて2年間の教育を無料で提供しています。

高い教育水準およびスキルを備えたベビーブーム世代（団塊世代）の人々が退職し、労働力とスキル不足が顕在化しつつある時代において、充実した優秀な教育基盤は、企業にとっての労働力を生み出し、向上させていくという課題に対応するためには最善の方法と言えます。

全米最高水準のカレッジや大学が近在するという利点に加えて、バトルクリークが誇る数々の教育制度により、望ましいコミュニティーの条件として教育を最優先に挙げる人々にとって、バト

ルクリークはまさに願ってもない都市です。

Battle Creek Unlimited

4950 West Dickman Road

P.O. Box 1438

Battle Creek, Michigan 49016

269.962.7526

Karl Dehn, [dehn@bcunlimited.org](mailto:dehn@bcunlimited.org)